

## 行財政構造改革の取組実績（平成 30 年度）

### 1 取組実績額総括表（平成 30 年度決算見込ベース）

- 歳出構造改革の取組実績額は、総人件費の縮減額の増加に伴い+4億円の増額
- また、臨時的・集中的な財源確保対策については、県税収入の増収による歳入の増加等を踏まえ、一部の臨時的対策（退職手当債の発行）を縮減した結果、▲6億円の減額
- （単位 億円）

| 取組項目                     | 平成 30 年度   |            |            |
|--------------------------|------------|------------|------------|
|                          | 当初見込額<br>① | 実績額<br>②   | 増減額<br>②-① |
| <b>I 歳出構造改革</b>          | <b>169</b> | <b>173</b> | <b>4</b>   |
| (1) 総人件費の縮減              | 40         | 44         | 4          |
| (2) 事務事業の見直し             | 12         | 12         | 0          |
| (3) 公共投資等の適正化            | 7          | 7          | 0          |
| (4) 公債費の平準化              | 110        | 110        | 0          |
| (5) 公の施設の見直し             | 0          | 0          | 0          |
| <b>II 臨時的・集中的な財源確保対策</b> | <b>64</b>  | <b>58</b>  | <b>▲6</b>  |
| 執行段階での節減等（前年度剰余金等）       | 37         | 37         | 0          |
| <b>合 計</b>               | <b>270</b> | <b>268</b> | <b>▲2</b>  |

### 《参考》改革期間中の取組効果額（H29～R3、当初予算ベース）

（単位 億円）

| 区 分                      | H29        | H30        | R元         | R2         | R3         | 計            |
|--------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|--------------|
| <b>I 歳出構造改革</b>          | 76         | 169        | 207        | 222        | 212        | 886          |
| (1) 総人件費の縮減              | 15         | 40         | 57         | 63         | 61         | 236          |
| (2) 事務事業の見直し             | 7          | 12         | 15         | 15         | 15         | 64           |
| (3) 公共投資等の適正化            | 3          | 7          | 5          | 13         | 16         | 44           |
| (4) 公債費の平準化              | 51         | 110        | 130        | 131        | 119        | 541          |
| (5) 公の施設の見直し             | —          | 0          | 0.4        | 0.4        | 0.4        | 1.2          |
| <b>II 臨時的・集中的な財源確保対策</b> | 77         | 64         | 56         | 50         | 25         | 272          |
| 執行段階での節減等                | —          | 37         | 47         | 37         | 37         | 158          |
| <b>合 計</b>               | <b>153</b> | <b>270</b> | <b>310</b> | <b>309</b> | <b>274</b> | <b>1,316</b> |

## 2 主な取組実績

### I 歳出構造改革

(1) 総人件費の縮減 …………… 見込：3,950百万円 ⇒ 実績：4,399百万円（+449）

◇ 定員削減 ▲365人（当初見込 ▲274人）

| 区 分       | H28.4.1 | H30.4.1 | H30実績 | 目標(～R3) |
|-----------|---------|---------|-------|---------|
| 一 般 行 政   | 3,718人  | 3,608人  | ▲110人 | ▲160人   |
| 教 育       | 11,739人 | 11,490人 | ▲249人 | ▲470人   |
| 警 察（一般職員） | 417人    | 411人    | ▲6人   | ▲27人    |

- ・一般行政 審議監の見直し、小規模班の統合、職員派遣の引揚等
- ・教 育 児童・生徒数の減少、高校再編に伴う学級・学校の減少等
- ・警察(一般職員) 業務の合理化、人員配置の効率化

◇ 給与水準の見直し

- ・通勤手当の見直し（国・他県・民間の支給状況等を踏まえ、月額を見直し）
- ・「県庁働き方改革」の推進による時間外勤務手当の縮減

(2) 事務事業の見直し …………… 見込：1,231百万円 ⇒ 実績：1,243百万円（+12）

- ・「全事業の見直し」の実施  
全ての事業を対象とした、費用対効果や役割分担等の観点での見直し

| 区 分           | 対象事業  | 見直し事業          |                |                |
|---------------|-------|----------------|----------------|----------------|
|               |       | 休廃止            | 縮小・効率化         | 計              |
| 事業数<br>(割合：%) | 1,260 | 177<br>(14.1%) | 711<br>(56.4%) | 888<br>(70.5%) |

(3) 公共投資等の適正化 …………… 見込：738百万円 ⇒ 実績：738百万円（同額）

投資水準の適正化に向け、事業効果・緊急性等の精査により事業の重点化や平準化を進め、事業費（地方負担ベース）を抑制

| 区 分                | 見 直 し 内 容   |
|--------------------|---|
| 公 共 事 業<br>(農林、土木) | 補助公共等：国予算の伸び率から ▲2%（地方負担ベース）<br>単 独 公 共：地財計画の伸び率から ▲2%（ ” ） |
| 県営建築事業等            | 地財計画の伸び率から ▲2%（地方負担ベース）等                                    |

(4) 公債費の平準化 …………… 見込：10,982百万円 ⇒ 実績：10,982百万円（同額）

国の地方債同意等の範囲内において、施設の耐用年数とのバランスや地方財政計画、全国自治体の状況等を踏まえ、30年債の導入を推進

## (5) 公の施設の見直し

社会経済情勢や県民ニーズの変化等を踏まえ、「見直しの基本方針」に沿って、すべての施設を対象に、個別施設ごとに、移管・統廃合・運営手法の見直しを推進

### 〈見直し公表施設〉6施設

| 施設名         | 見直し方針・内容     |  |
|-------------|--------------|--|
| 身体障害者福祉センター | 存置・<br>運営見直し | 指定管理者制度の導入（H31. 4～）  |
| 山口きらら博記念公園  | 存置・<br>運営見直し | 指定管理者制度の導入（H31. 4～）  |
| きらら浜自然観察公園  | 存置・<br>運営見直し | ネーミングライツの導入（H31. 4～）   |
| 維新百年記念公園    | 存置・<br>運営見直し | ネーミングライツの導入<br>・陸上競技場（H30. 1～）<br>・スポーツ文化センター（H31. 4～）<br>・テニス場（公募中） |
| 母子・父子福祉センター | 存置・<br>運営見直し | 総合保健会館（健康づくりセンター：現「運動指導室」）へ移転（R 3. 4～）                               |
| 健康づくりセンター   | 存置・<br>運営見直し | 「健康プラザ（参加体験型学習施設）」について、運動指導機能を備えた多目的スペースへ用途変更（R 3. 4～）               |

※ ネーミングライツ導入（維新百年記念公園陸上競技場）の取組実績額は、臨時的・集中的な財源確保対策に計上

## II 臨時的・集中的な財源確保対策

(1) 保有基金の取崩し …………… 見込： 800百万円 ⇒ 実績： 800百万円（同額）  
・市町振興基金（貸付休止中） 800百万円

(2) 保有財産等の活用 …………… 見込：1,413百万円 ⇒ 実績：1,983百万円（+570）

◇ やまぐち産業振興財団基金等の活用 968百万円  
・研究開発助成基金、地域産業活性化基金、情報化基盤整備基金 等

◇ 特別会計余剰金の繰入 15百万円  
・就農支援資金特別会計 7百万円  
・土地取得事業特別会計 8百万円

◇ 企業会計（電気）からの繰入 1,000百万円

(3) 未利用財産等の売却・貸付 … 見込：1,706百万円 ⇒ 実績：2,069百万円（+363）

※H28年度目標額（300百万円）を超える額を取組実績額として計上

|          |                    |          |
|----------|--------------------|----------|
| 〈主な売却財産〉 | 東京目黒公舎             | 1,264百万円 |
|          | 門前公舎、吉敷公舎、後河原部課長公舎 | 254百万円   |
|          | 山口南総合支援学校下関分校      | 195百万円   |
|          | 旧消費生活センター          | 175百万円   |
|          | あすとぴあ              | 112百万円   |
|          | 流通センター県有地          | 104百万円   |

(4) 県税収入等の確保 …………… 見込：155百万円 ⇒ 実績：308百万円（+153）

◇ 個人県民税の徴収対策強化 21百万円

- ・ 困難事案等に係る直接徴収の強化（H28実績：75件 → H30実績：433件）

◇ 税外未収金対策の強化 268百万円

債権管理プラン（H28～H32）に基づき、部局ごとに設置した債権管理者のもと、組織的・計画的な未収金の回収を推進

- ・ 債権管理者会議等による進捗管理
- ・ 回収強化月間の実施（7月、8月、11月、12月）等

◇ 「つながる。やまぐち応援寄附金（ふるさと納税）」の確保・増収 6百万円

※H28年度実績額（3百万円）を超える額を取組実績額として計上

新たな寄附者の開拓と寄附金の増収に向け、寄附金の使途として「福祉」と「教育・文化」の2分野（5テーマ）を選定し、訴求力のあるPRを展開

◇ ネーミングライツの導入 13百万円

- ・ 維新百年記念公園陸上競技場（H30.1～）

(5) その他の財源補てん …………… 見込：2,336百万円 ⇒ 実績：600百万円（▲1,736）

◇ 物件費の執行留保 600百万円

予算執行段階での職員旅費、消耗品費、電話代等の更なる節減（H30当初対比▲10%）

◇ 退職手当債の追加確保 0百万円

県税収入の増収による歳入の増加等を踏まえ、退職手当債（県債：一般分）の発行を抑制

### 3 今後の課題

「会計年度任用職員制度」の導入等（R2.4～）に伴う総人件費の増加への対応

※地方公務員法等の改正による臨時・非常勤職員の任用制度の見直し

⇒ 所要財源を確保し、行財政構造改革が目指す収支均衡した持続可能な財政構造への転換に支障が生じないように、令和2年度当初予算編成を通じて所要額を精査の上、改革の更なる取組強化を検討